

2018年 HI 盃地区委員との意見交換会（打合せ覚）

1. 日時：2018/10/27（土） 15:00～16:00@海上コート クラブハウス内
2. 出席者：審判長、HI 盃委員、各地区委員、世話人他
3. 目的
  - (1) 各地区での活性化を図るため現在の活動と世話人会のサポートについて
  - (2) 東西対抗の改善について
4. 要旨
  - (1) これまでの施策の振り返りと各地区の状況報告
    - ・商事佐藤氏から説明。また、7月に実施された九州遠征について商事古村氏から説明。九州の重工西村氏からは「クリニックは大変良かった」とコメントあり
    - ・予選の結果をもとに、5位以下のペアに東西対抗出場の権利を与えているが、マストではないので、確保することが難しい（関西）。
    - ・予選3～6位を東西対抗に出場するようにしているが、その点を踏まえ初めから出場しないメンバーも多い、1試合のためだけに出場する人が少なくなっている（中京）
    - ・長崎地区が中心となって予選を行っている。楽しむ方は多いが勝負事となると遠慮するメンバーが多いように思われる（九州）
  - (2) 課題と今後の対応案
    - ア. 女子シングルス

枠については今後のために各地区の枠は残しつつも、固定せず、フレキシブルに対応した方がよいという意見があり。事務局間で事前に調整して枠を移すこととし、予選が始まる前に一旦、前年度実績で決めておき、強い新人等が入ってきたら融通できるように検討する。
    - イ. 東西対抗

武田審判長から「オール三菱のルーツであり、全くなくすことは出来ない。各地区から選ばれた選手が、地区の代表として参加したいという気持ちになってもらうことが重要。今までの歴史と伝統を踏まえた上で十分に議論し、現状のニーズに合った形に変えていくことが必要」とのコメントがあり。今後、次のような案を検討する。

      - ① 東西対抗の試合を土曜日から入れて、2日に亘り複数試合できる案。
      - ② 従来の東西の枠にとらわれず、運動会のポイント方式にちなんで全社対抗にする案
      - ③ A、B、Cと強い順に分けてブロックを組んでみる案
    - ウ. 地区クリニック、補助金

地区クリニックについては、費用対効果も踏まえ継続的に活動することについて、また、補助金は支給金額について検討する
  - (3) 今後の予定

本日の打ち合わせを踏まえ、来年に向けての検討案策定を来年2月頃に再度関係者に参集願（@東京または中京等）について、別途、11月中に事務局で調整する。

以上